

様式第5号

出張調査報告書

平成28年3月1日

松伏町議会議長 山崎善弘様

会派名 自民の会

代表者名 高橋昭男



下記のとおり、先進地視察をしたので届け出ます。

記

1 期 日	平成28年1月28日から平成28年1月29日まで
2 視 察 地	(1) 石川県珠洲市 (2) 石川県輪島市
3 視 察 目 的	(1) 能登里山里海マイスター育成プログラムによる人材づくりとブランド化に向けた取り組み (2) 活力に満ちたまちづくり(輪島市6次産業化支援事業、輪島工房長屋など伝統工芸の情報発信基地)
4 視 察 者 氏 名	高橋昭男、佐藤永子、山崎善弘、松岡高志
5 視 察 結 果	行程、視察結果は別紙のとおり

1. 調査年月日

平成28年1月28日から平成28年1月29日まで

2. 観察地及び観察目的

(1) 石川県珠洲市

- ・能登里山里海マイスター育成プログラムによる人材づくりについて
- ・ブランド化に向けた取り組みについて

(2) 石川県輪島市

- ・輪島市6次産業化支援事業について
- ・輪島工房長屋など伝統工芸の情報発信基地の取り組みについて

3. 観察者氏名

高橋昭男 佐藤永子 山崎善弘 松岡高志

4. 観察内容及び結果（観察結果所感）

石川県珠洲市の人口は15,600人。本州で最も人口が少ない市である。市内に鉄道路線はなく、廃線になった鉄道の駅は「道の駅」にリニューアルされ、バスターミナルとしての役割を担っていた。高齢化率は45%、人口減少と少子高齢化が進み、日本創生会議の「消滅可能性都市」でもあり、地域再生のため、多くの取り組みを行っていた。

取り組みの一つである、人材育成事業「能登里山里海マイスター」育成プログラムは廃校になった校舎を再利用して、金沢大学と連携して行っていた。平成19年から平成26年の修了生は128名、その中の東京出身の2人は、学んだことを生かした農産物の加工ビジネスや地元食材を使用した菓子製造・飲食店経営を珠洲市に定住して行っている。松伏町は自然豊かであり、農業も盛んである。地元産の農産物の種類も多い。さらに大学が集中している東京に近く地理的優位性もある。珠洲市の実践事例を参考に、松伏町の人口減少対策、松伏町独自の地方創生を推進していきたい。

石川県輪島市の人口は29,000人。人口減少が進み、輪島塗生産額もピーク時の5分の1になっている。輪島市の観光振興の中心でもある「輪島工房長屋」など漆器産業振興策は、輪島市の独自性と効果が目に見えるものが多く、その中でも市が直接行っている漆器の貸し出し事業は年100件の実績があった。また、商工会の漆器普及宣伝事業は小学校の教科書に輪島塗が再び掲載されるようになるなど、補助金の有効活用がしっかりと図られていた。年間110万人の観光入込客数がある観光振興では、耕作放棄の千枚田を復活させて、新たな観光資源を作り出し、隣接のポケットパークでは周辺の地元農家の収入増や農産物の6次産業化などの具体的な成果を生み出していた。松伏町においても、新たな観光スポットを生み出し、輪島市が具現化した事例を参考に、地域経済の活性化を図っていきたい。

行政視察行程（石川県珠洲市・輪島市 2016.1.28-29）

○第一日目 1月28日（木）

6:27 発 越谷駅

↓ 6 駅 東武スカイツリーライン準急・中央林間行

7:15 着

押上駅（都営浅草線・乗換）

7:20 発

↓ 11 駅 エアポート快特 羽田空港国内線ターミナル行き

8:05 着 羽田空港国内線ターミナル（京急）

↓ 徒歩5分

8:55 発 羽田空港(東京)



ANA747便



9:55 着 能登空港（のと里山空港）



レンタカー（トヨタレンタカー能登空港店）

空港→珠洲市役所（所要時間1時間30分）

珠洲市役所（視察研修 13:30~15:30）

宿泊先 国民宿舎「のとじ荘」

〒927-1222 石川県珠洲市宝立町鵜飼 1-30-1 Tel 0768-84-1621

○第二日目 1月29日(金)

珠洲市



宿泊先からレンタカーで移動（所要時間1時間30分）

輪島市・輪島工房長屋（視察研修 10:00～12:00）



レンタカー

市内視察後空港に移動（輪島市→空港 所要時間40分）

17:00発 能登空港（のと里山空港）



ANA750便



18:05着 羽田空港(東京)



徒歩5分

19:02発 羽田空港国内線ターミナル(京急)



24駅 京急空港線エアポート急行・芝山千代田行

19:51着

押上駅

19:55発



6駅 東武スカイツリーライン急行・久喜行

20:23着 越谷駅